

## 第二節 昭和十七年

① 職員動靜（「從昭和十七年 職員通知簿」その他による。）  
昭和十七年

一月六日 講師入谷昇は助教に任命され、彫刻科勤務、教務課兼勤を命ぜられる。

同月二十三日 教授建畠大夢（彫刻科主任）は勅任官待遇となり、從四位に叙せられる（同日死去）。

三月三十一日 浦和高等学校教授秦慧玉は本校図画師範科漢文授業担任講師を、同遠藤佐市郎は同科国語授業担任講師を嘱託される。

四月二十日 片岡照三郎は漆工部第四学年の彫鏤実習を同日より五月二十一日まで（一回四時間、十回）臨時嘱託される。

五月二十六日 豊田朝一郎に代わって陸軍歩兵中尉平井小二郎は体操、教練担任講師を嘱託される。

同月二十八日 滝川長七は漆工部工芸化学授業担任講師（一週四時間）を嘱託される。

六月一日 塚本閣治（大正九年凶案科卒）は印刷および写真に關する特別講義を六月から七月まで（一週二時間、五回）臨時嘱託される。講師平野茂は依願解嘱となる。

同月二十九日 教授矢代幸雄は高等官二等に叙せられ一級俸を下賜される（翌三十日依願免官）。同三十日、矢代幸雄は美術史

担任（一週二時間）講師を嘱託される。

七月七日 浦和高等学校書記鈴木鉄太郎は本校書記に任命され、庶務課勤務、会計課兼務を命ぜられる。

同月十五日 助教授森田武は庶務課勤務を免ぜられる。教授高村豊周は教務課勤務を命ぜられる。助教授西田正秋は教務課勤務を免ぜられて生徒課勤務となる。講師鎌倉芳太郎は生徒課勤務を免ぜられて文庫課勤務となる。同白川一郎は文庫課勤務を命ぜられる。講師齋藤幸晴、依願解嘱となる。

同月十八日 陸軍中尉山岸清一郎は体操、教練担任講師を嘱託される。

九月二十一日 講師鎌倉芳太郎は助教に任命される。

十月五日 小池岩太郎（昭和十年凶案部卒）は本校授業を嘱託され、凶案部勤務を命ぜられる。

十二月二十三日 教授広川松五郎は凶案部理事を、教授海野清は彫金部理事を、教授高村豊周は鑄金部理事を、助教授山崎寛太郎は漆工部理事を免ぜられる。助教授森田武は凶案部理事を、嘱託山脇洋二は彫金部理事を、助教授丸山義男は鑄金部理事を、同磯矢陽は漆工部理事を命ぜられる。

同日 龍居松之助は建築科に課する庭園に關する講義（毎週二時間、十回）を臨時嘱託される。